

News Release

本プレスリリースは [2017年6月6日に米国ニューヨークで配信された内容](#)を翻訳したものです。

デロイト グローバル調査、女性リーダーが率いる組織では取締役会のジェンダーダイバーシティが2倍

- 取締役会の多様性促進に向けた64カ国の取り組みを調査
- 女性が取締役会議長を務める企業は、男性がそれを務める企業に比べ、女性取締役会メンバーの数が約2倍(それぞれ29%、16%)。
- 女性がCEOを務める企業と男性がCEOを務める企業とで女性取締役会メンバーの数を比較した場合も同じ傾向(それぞれ29%、15%)。

取締役会のジェンダーダイバーシティを改善する取り組みが続けられているにもかかわらず、依然として、女性は企業の取締役としての活躍の機会が十分に与えられていません。デロイト グローバルの調査レポート『[Women in the Boardroom: A Global Perspective\(役員への女性登用:グローバルな視点から\)第5版](#)』(英文)では、取締役会のジェンダーダイバーシティ促進に向けた60カ国以上の取り組みを調査しました。世界中の取締役会において女性が占める割合はわずか15%ということが明らかになり、[2015年版\(英文\)](#) レポートからあまり大きく進歩していないことがわかりました。

同レポートでは、今回初めて、企業のリーダーシップとダイバーシティとの関係について、地域ごとに分析が行われました。女性リーダー(CEOおよび取締役会議長)と女性取締役会メンバーの数との間に直接的な相関関係があるということが明らかになっています。

デロイト グローバル センター フォー コーポレートガバナンスのシニアマネジングディレクター、ダン・コニグズバーグは、以下のように述べています。「リーダーシップのトップの地位に女性が就いている組織は、他と比べ、女性取締役会メンバーの数が2倍近くになります。逆もまた然りで、ジェンダーダイバーシティが高い取締役会は女性のCEOや取締役会議長を指名する可能性が高くなります。このことは、女性のCEOや取締役会議長の数が増えるにつれて、取締役会の多様性が向上するという重要な傾向を示しています。しかしながら、リーダーシップのトップの地位に就いている女性の割合は依然としてとても低く、世界中のすべてのCEOや取締役会議長のポストのうち女性が占める割合はわずか4%に過ぎません」

職場におけるジェンダー格差の解消は、公平性というだけでなく、効果的なガバナンスと包摂的な経済成長に関わる問題でもあります。

包摂的な成長と仕事の未来

仕事の未来を変容させつつある技術的・社会的転換の中を組織が舵取りしていくうえで、取締役会は非常に重要な役割を担います。取締役会メンバーがあらゆる角度から課題を検討し、常に新鮮な視点をもつためには、思考(と人)の多様性がきわめて重要です。

ユニグズバーグは以下のようにも述べています。
「労働力の多様性向上と包摂的成長の促進は、デロイトの最優先事項です。これらの目標の達成を支援するために、デロイトは、女性の労働力参加を促す [B20](#) への関与、さらにはジェンダー平等を経済開発の中心に据えることなどを目指す「国連持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の実現に向けた [OECD](#) とのコラボレーションなど、さまざまなイニシアチブに積極的に参加しています。デロイトはまた、取締役になる女性をサポートするプログラム「Board Ready」を世界中で実施することにより、取締役会の多様性を引き続き提唱しています」

注目すべきその他の調査結果:

アメリカスの取締役会はジェンダーダイバーシティがあまり高くない

- 米国では、取締役会メンバーに占める女性の割合はわずか 14%で、2015 年版レポートから 2%増となっている。女性取締役会議長の割合には進歩がなく、4%弱にとどまっている。
- カナダでは、取締役会メンバーに占める女性の割合は 18%に増加し、2015 年から 5%増となっている。女性取締役会議長は、2015 年には 6%だったが、2017 年には 5%に低下した。
- 中南米全体では、取締役会メンバーに占める女性の割合はわずか 7%で、女性取締役会議長は 2%だった。

EMEA の進歩は国によって大きく異なる

- クォータ制を最初に導入した国、ノルウェーは、取締役会メンバーに占める女性の割合が最も高く(42%)になっている。女性取締役会議長の割合は 7%である。
- 英国は、クォータ制を設けていないが、取締役会メンバーの 20%と取締役会議長の 3%が女性である。
- イタリアでは、取締役会メンバーに占める女性の割合は 28%に増加した。しかし、女性取締役会議長の割合は 2015 年から 14 ポイント減少して 9%となっている。

オーストララシア※の取締役会は多様性が向上しつつある

- オーストラリアは、クォータ制を設けていないが、取締役会における女性の数は増え続けている。現在、取締役会メンバーに占める女性の割合は 20%、女性取締役会議長の割合は 5%である。
- ニュージーランドは、2015 年から最も大きな前進を遂げ、取締役会メンバーに占める女性の割合は 28%(10 ポイント増)に、女性取締役会議長の割合は 11%(6 ポイント増)に増加した。

※オーストラリア大陸・ニュージーランド北島・ニュージーランド南島・ニューギニア島およびその近海の諸島(インドネシアの領域を含む)を指す地域

アジア太平洋地域は他に後れを取っている

- アジアの一部の主要経済国は 8%と、世界の他の地域に比べてジェンダーダイバーシティが最も低くなっている。この地域でクォータ制やその他の対策をとっている国はごくわずかである。

本調査について

本調査においては、デロイト グローバルの委託により、MSCI ESG Research Inc.が、アジア太平洋地域、アメリカス、EMEA の 44 カ国 7,000 社近くの企業を対象に、取締役会の多様性に関するデータを収集しました。データは、2016 年 12 月 15 日時点で集計されています。本レポートでは、このデータに基づき、取締役会の多様性向上に向けた進展を世界・地域・国レベルで分析しています。さらに、主要インダストリー(金融、消費財、テクノロジー・メディア・通信、製造、ライフサイエンス・ヘルスケア、資源・エネルギー)の取締役会に女性がどの程度登用されているかを明らかにしています。本データを補完する目的で、デロイト グローバルは、その他の 20 カ国におけるクォータ制やその他の取締役会の多様

性に関するイニシアチブについて情報をまとめました。したがって、このレポートでは、合わせて 64 カ国における取締役会のジェンダーダイバーシティを高める取り組みを調査している。オーストラリア、日本、英国、米国の 4 名の取締役にインタビューを実施し、調査結果についての見解と世界各地における取締役会の多様性の進捗状況について洞察を加えた。

デロイト グローバル センター フォー コーポレートガバナンスについて

デロイト トウシュートマツ リミテッドのグローバル センター フォー コーポレートガバナンスは、世界中のデロイト メンバーファームが持つ、コーポレートガバナンスの重要分野の知識と経験を結集します。その使命は、コーポレートガバナンスの重要分野に関して、デロイトのプロフェッショナル、企業とその取締役会、投資家、会計専門家、研究者、政府による対話を促進することです。本グローバルセンターは 2009 年から、アジア、欧州、中東、アフリカ、アメリカに 44 のコーポレートガバナンスセンターを開設しています。グローバルセンターのウェブサイトはこちら：
www.global.corpgov.deloitte.com.

<報道関係者からの問い合わせ先>

デロイト トーマツ グループ 広報担当 菊池

(デロイト トーマツ コーポレート ソリューション 合同会社)

Tel: 03-6720-8920

Email: press-release@tohmatu.co.jp

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュートマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイト トーマツ 合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション 合同会社を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 11,000 名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト) は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクアドバイザー、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界 150 を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを Fortune Global 500® の 8 割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約 245,000 名の専門家については、Facebook、LinkedIn、Twitter もご覧ください。

Deloitte (デロイト) とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュートマツ リミテッド (“DTTL”) ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL (または “Deloitte Global”) はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited